The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学看護学雑誌　22巻1号　編集後記
Author(s)	清水, 安子
Citation	大阪大学看護学雑誌. 2016, 22(1), p. 37-37
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55401
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編　集　後　記

大阪大学看護学雑誌は、この22巻1号より紙媒体での発行を中止し、電子媒体での発行となりました。大阪大学機関リポジトリ OUKA（桜華）の HP を通じて、いつでも、そして世界中のどこからでも閲覧することが可能になります。さらに、この機会に、本学クリエイティブユニットに依頼し“看護”をイメージした表紙に変更したり、不要となった印刷費・郵送費を財源に、原稿の校正を業者に依頼するなど、多くの人の目に触れる雑誌としてのクオリティーを高める変更も行いました。

この変更は、雑誌を電子化することでの研究成果の公開の意義・重要性を感じて進めてまいりましたが、論文を査読するプロセスにあたっても、論文が「多くの人の目に触れる」ことを査読する側にも自然と意識させており、査読の質の向上にもつながるのだと改めて感じました。

それはきっと論文投稿者にも言えることだと思います。少子高齢化、医療財政の危機、今後10年で日本の医療を取り巻く環境は大きく変化するでしょう。その変化の中で、柔軟にかつ逞しく活躍できる看護職、そしてその道を指し示す看護研究が今求められているのだと思います。電子化を機に、日本中、そして世界中に、皆様の研究成果をこの大阪大学看護学雑誌を通じて、これまで以上に発信していただけたら幸いです。

最後になりましたが、査読をご担当いただきました皆様、そして、雑誌の発行および電子化にあたってご尽力いただいた編集委員、看護企画室の皆様に、心より感謝申し上げます。

（編集委員長：看護実践開発科学講座　清水安子）

編集委員会

委員長　清水　安子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　看護実践開発科学講座）
委　員　越村　利惠（大阪大学医学部附属病院　看護部）
谷浦　葉子（同上）
堀井　菜緒子（同上）
谷川　茜　（同上）
牧本　清子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　看護実践開発科学講座）
伊藤　美樹子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　総合ヘルスプロモーション科学講座）
白石　三恵（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　生命育成看護科学講座）
査　読　田墨　惠子（大阪大学医学部附属病院　看護部）
堀井　菜緒子（同上）
片山　圭子（同上）
谷川　茜　（同上）
荒尾　晴惠（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　看護実践開発科学講座）
山川　みやえ（同上）
神出　計　（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　総合ヘルスプロモーション科学講座）
小西　かおる（同上）
石井　豊恵（同上）
酒井　規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻　生命育成看護科学講座）
山崎　あけみ（同上）
渡邊　浩子（同上）